

健都イノベーションパーク整備方針(案)概要

資料5



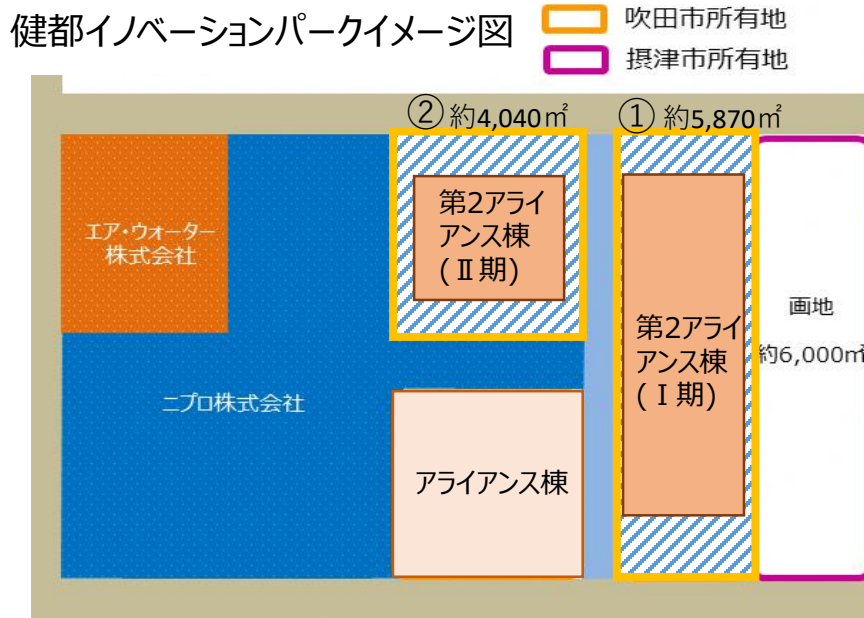
整備方針

○未売却の全画地について、第2アライアンス棟の活用を基本に整備

施設コンセプト等

- ・研究機関と食関連企業との共同研究開発、更には提供(社会実装)まで実現可能な食の研究・実装機能を担保
- ・共創の場形成支援プログラム(以下、「共創PJ」)※との長期的な連携を見据えたオフィス・ラボ等を整備
(仮称)一般社団法人健都共創推進機構(令和5年3月法人設立予定)が長期間賃借し、入居予定

※令和2年に採択された国の長期プロジェクト。
ライフサイエンス分野等で先導的な研究をリードする
広域の拠点形成が進展中



・大阪府摂津市千里丘新町
・準工業地域、建ぺい率60%、容積率200%

<主な整備施設等>

(1) 食の実装施設

健やかな生活習慣形成の入り口である学齢期に焦点。同世代全員にアプローチできる学校給食の活用 ※中学校給食11,500食の提供を想定

(2) 共創PJに関連する施設

共創PJの運営拠点、イメージング機器を配置したプラットフォーム、AI研究センター、ラボ等

(3) 貸オフィス及びラボ

企業・大学・研究施設等が入居可能な施設
※今後も相応の需要が見込まれることを踏まえ、一定の部屋数を確保

<施設概要>

① 第Ⅰ期

アライアンス機能(ラボ、オフィス等)
食の実装施設

② 第Ⅱ期

企業ニーズ等を踏まえた研究施設(ラボ、オフィス等)

※市況を見極めながらできるだけ早期の整備を目指す

<第Ⅰ期整備スケジュール>

令和8年度の運営開始を目標に調整